

しん げん ごう れい わ 新元号「令和」

こ だい も じ な た し
～古代文字から成り立ちを知ろう～

白川文字学 ニュース

No. 16

発行2019年4月
福井県教育委員会
生涯学習・文化財課

元号が「平成」から「令和」となります。令和元年の「白川文字学ニュース」は、わたしたちのくらす福井県と関わりのある言葉や漢字を取り上げます。

4学年配当漢字

レイ

【篆文】 【金文】

ぎらいよう つか (ぼうし)
儀礼用の深い帽子をかぶって、
ひざまずく人



かみ
神さまにおたずねをし、そのお
告げにしたがうことから、「よい・
りっぱ」の意味となりました。

3学年配当漢字

ワ・オ
やわらぐ・
やわらげる・
なごむ・なごやか

【篆文】 【金文】

さい (かみ)
さい(神さまへの祈りの
文を入れる器)

ぐんもん
軍門に立てる標識の木

さいを置いた軍門の前で、戦争
をやめることを約束したので、「や
わらぐ・なごむ」の意味となりま
した。

「令和」の出典
『万葉集』から
【意識】

とき はつはる よ つき
時は初春の令き月、
空気が美しく、
風は和やかで、
うめ かがみの前の美人が
梅は、かがみの前の美人が
白く化粧するように
はな 花をつけ、
らん 身をかがる衣に
蘭は、身をかがる衣に
ただよう香のように
かおっています。



「梅花の歌」序より

【参考資料】

- ・常用字解
- ・白川静博士に学ぶ

漢字の世界へ